

# 大学見本市2023

## イノベーション・ジャパン

—日本最大級の産学連携イベント—

会場マップ

入場無料 ※来場登録制

2023.8.24(木) 10:00-17:30 → 25(金) 10:00-17:00 東京ビッグサイト 南1ホール

主催：JST 国立研究開発法人 科学技術振興機構 Japan Science and Technology Agency 共催：内閣府、文部科学省

後援：一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所

### JSTその他展示

#### J-01 JSTスタートアップ出資・支援事業

JSTの「SUCCESS」は研究開発成果の実用化をめざすベンチャー精神にあふれる方々を支援する制度です。

出資型新事業創出支援プログラム(SUCCESS)事業サイトはこちら▶ (https://www.jst.go.jp/entre/)

出資型新事業創出支援プログラムおよび出資先のご紹介

- C4U株式会社 (大阪大学発ベンチャー企業)
- bitBiome株式会社 (早稲田大学発ベンチャー企業)
- 株式会社サイフーズ (九州大学発ベンチャー企業)

#### J-03 JST所有特許技術紹介

JSTの所有特許約2,500件、ライフサイエンス、ナノテクノロジー・先端材料、電子・機械・光学、環境・エネルギーと多岐にわたる技術領域の中から選りすぐりの特許ファミリー【約70件の技術概要を記載した小冊子】を配布します！

JSTが保有する特許・特許出願の発明はホームページでも公開中。ご確認お問い合わせはこちらから (https://www.jst.go.jp/chizai/patent.html) ▶

#### J-05 JST未来社会創造事業

未来社会創造事業は、社会・産業ニーズを踏まえ、経済・社会的にインパクトのあるターゲットを明確に見据えた技術的にチャレンジングな目標を設定し、実用化が可能と見極められる段階(概念実証・POC)を目指した研究開発を実施します。

今回は「顕在化する社会課題の解決」領域から研究課題の一部をご紹介します。

未来社会創造事業サイトはこちらから▶ (https://www.jst.go.jp/mirai/jp/)

#### J-07 Plus(Platform for unified support for startups) 政府系16機関連携スタートアップ支援プラットフォーム

NEDOを含む政府系16機関は、スタートアップ支援を目的として、「スタートアップ・エコシステムの形成に向けた支援に関する協定書」を締結し、スタートアップ支援に関するプラットフォーム(通称Plus(プラス))"Platform for unified support for startups)"として連携しています。ご相談内容・フェーズに合わせた各種支援制度のご紹介を行っていますので、お気軽にお立ち寄りください。

ワンストップ相談窓口「Plus One(プラスワン)」はこちらから▶ (https://startups.nedo.go.jp/plusone/) ▶

#### 併催事業展示 ムーンショット型研究開発制度エリア

「ムーンショット」とは、人々を魅了する野心的な目標を掲げて世界中の研究者の英知を結集しながら困難な社会課題の解決を目指し、挑戦的な研究開発を進める研究開発制度です。

ロボット・AI、健康医療、地球環境、食と農業、量子、気象、こころなど全9目標について、デモを交えて研究内容を紹介します。

ムーンショット型研究開発制度についてはこちらから▶ 内閣府ホームページ (https://www8.cao.go.jp/cstp/moonshot/index.html) ▶

#### J-02 JSTマッチングプランナー制度

JSTの「マッチングプランナー」は、全国5カ所のオフィスにて解決すべき技術的課題(ニーズ)とその解決につながる得る大学などの研究成果、知的財産(シーズ)を結び専門人材です。お気軽にご相談ください。

A-STEP マッチングプランナー制度ご紹介はこちら▶ (https://www.jst.go.jp/a-step/outline/tryout\_mp.html)

マッチングプランナーによるシーズのご紹介もあります

#### J-04 JST大学発スタートアップ起業支援事業成果展示「グランドグリーン株式会社」

研究成果展開事業の「大学発新産業創出プログラム プロジェクト推進型 起業実証支援」の参画を通して、「植物から、無限大の可能性を。」を事業コンセプトに据え、名古屋大学発で起業された「グランドグリーン株式会社」をご紹介します。

展示企業

グランドグリーン株式会社 (名古屋大学発ベンチャー企業)

次世代の食農を創造する研究開発型のアグリバイオスタートアップ

研究成果展開事業大学発新産業創出プログラム(START)事業サイトはこちらから▶ (https://www.jst.go.jp/start/)

#### J-06 JST戦略的創造研究推進事業 採択課題展示

JST戦略的創造研究推進事業にて採択された技術シーズを展示します。

さきかけ採択課題

『都市の未来予測と意思決定を支える時空間AI技術』

京都大学大学院情報学研究所知能情報学専攻 助教 竹内 孝 ▶分野:インフラ・安全・社会基盤

都市から計測される移動と行動のデータを時空間の観点から分析し、都市の未来の状態を予測するAI技術を研究しています。

CREST採択課題

『高分子微粒子による劣化しないマテリアルリサイクル』

信州大学学術研究院繊維学系 准教授 鈴木 大介 ▶分野:カーボンニュートラル・環境

高分子の鎖を数十から数百ナノメートル程度のサイズに微粒子化し、それらを集積して高分子成形体を形成することで、従来は難しいとされてきた高分子材料の強靱性と優れた分解性の両立が可能であることを発見しました。

CREST採択課題

『触感のある空中映像』

東京大学大学院新領域創成科学研究科複雑理工学専攻 教授 藤田 裕之 ▶分野:情報通信

空中超音波によって非接触で触覚を提示し、触感のある映像を作り出します。小動物や握手の触感なども再現されます。『猫める』空中映像の世界初のデモです。

ACT-X採択課題

『AIが生成した教材も自動評価する技術』

東京学芸大学教育学部技術科学分野 准教授 江原 暹 ▶分野:情報通信

外国語学習支援を中心に、個々の学習者に合わせてテキストを自動評価する技術を開発しています。

戦略的創造研究推進事業サイトはこちらから▶ (https://www.jst.go.jp/kisoken/)

#### 併催事業展示 大学発ベンチャー表彰 2023 受賞者ご紹介

大学等の成果を活用して起業したベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰します。24日(木)表彰式が行われるセミナー会場付近にて2023年度の受賞者をご紹介します。

大学発ベンチャー表彰についてはこちらから▶ (https://www.jst.go.jp/aas/) ▶

#### JST-その他展示

J-04 ムーンショットエリア

J-07 J-01 J-08 J-05 J-06 J-02 J-03

★おすすめのコンテンツ

#### 8.24(木) 10:30-12:00

変容する社会課題の解決への挑戦  
—食料・エネルギー・生態系サービスの未来を見据えて—

世界的な食料危機や枯渇性エネルギーからの早期脱却、生物資源の過剰消費など、私たちが抱える社会課題は年々深刻化しています。学問分野や組織の壁を超え、多様なステークホルダーと未来を築くために、JST未来社会創造事業の研究者が社会課題解決に挑みます。

未来社会創造事業「顕在化する社会課題の解決」領域概要説明

高橋 桂子 (運営統括/早稲田大学総合研究機構グローバル科学知能融合研究所 上級研究員・研究院教授)

研究開発課題発表

「開花時刻調節は未来の作物生産を革新するか」  
石丸 努 (農研機構中日本農業研究センター 上級研究員)

「光合成に必要な光を透過する農業ハウス用途の波長選択型有機太陽電池の開発」  
渡邊 康之 (公立諏訪東京理科大学工学部 教授)

「産業バイオマスを用いた電気化学触媒の合成」  
藪 浩 (東北大学材料科学高等研究所 教授/主任研究者)

「下水処理場の脱炭素化と豊かな海を同時に実現する未来の循環社会システムを目指して」  
足立 真佐雄 (高知大学教育研究部 教授)

「自然を大切に」が当たり前の社会に向けて—ネチャーボジティブを実現する九州大学の産学連携プロジェクト—  
武田 秀太郎 (九州大学都市研究センター 准教授)

総合討論  
高橋 桂子 運営統括 と5名の研究者による総合討論

高橋 桂子 石丸 努 渡邊 康之 藪 浩 足立 真佐雄 武田 秀太郎

(敬称略)

#### 8.24(木) 15:00-17:00

併催事業 二部制 セミナー会場

#### 大学発ベンチャー表彰2023 表彰式

「大学発ベンチャー表彰～Award for Academic Startups～」は、今年で10年目を迎えました。大学等<sup>(注)</sup>の成果を活用して起業したベンチャーのうち、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーを表彰するとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などを表彰します。セミナー会場近辺に受賞者紹介コーナーを設けております。ぜひお立ち寄りください。

(注) 大学等: 国公立大学、高等専門学校、国立試験研究機関、公立試験研究機関、国立研究開発法人、公益法人等の非営利法人

第一部【表彰式】15:00-16:10 / 第二部【受賞者ピッチプレゼンテーション】16:30-17:00

開会挨拶  
橋本 和仁 (国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長)

選考委員長講話  
野長瀬 裕二 (大学発ベンチャー表彰選考委員長・摂南大学経済学部 教授)

受賞企業 表彰式

文部科学大臣賞  
株式会社セルージュン 代表取締役社長CEO 羽藤 晋  
支援大学:慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 特任教授 榎村 重人  
支援企業:株式会社ニコソ・セル、イノベーション 代表取締役 中山 穂之  
事業内容:水溶性角膜症に対するIPS細胞を用いた角膜再生医療の研究開発

経済産業大臣賞  
エレファンテック株式会社 代表取締役社長兼CEO 清水 信哉  
支援大学:東京大学 大学院工学系研究科 教授 川原 圭博  
事業内容:インクジェット印刷を用いた独自のアドイティブ製法による低環境負荷電子回路基板の製造・販売

科学技術振興機構理事長賞  
コウソミル株式会社 代表取締役 鐘鉄 優  
支援大学:東京大学 大学院薬学系研究科 助教 小松 徹  
支援企業:ANRI株式会社 プリンシパル 宮崎 勇典  
事業内容:酵素活性の1分子計測リキッドバイオプシー技術による疾患早期診断と医薬品開発支援

新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長  
つばめBHB株式会社 代表取締役CEO 中村 公治  
支援大学:東京工業大学 国際先駆研究機構 元兼職MDX研究センター 荣誉教授 細野 秀雄  
支援企業:味の素株式会社 代表執行役社長 藤江 太郎  
事業内容:アンモニウム合成触媒の開発、小規模分散型アンモニウム生産システムの販売

日本ベンチャー協会会長賞  
株式会社Pale Blue 共同創業者 兼 代表取締役 浅川 純  
支援大学:東京大学 大学院新領域創成科学研究科 基盤科学研究系 先端エネルギー工学専攻 准教授 小泉 宏之  
事業内容:「水」を推進劑とした、小型衛星用推進機の開発

アーリーエッジ賞  
株式会社FerroptoCure(フェロトキュア) 代表取締役CEO 大槻 雄士  
支援大学:慶應義塾大学 医学部 名誉教授 佐谷 秀行  
事業内容:世界初のエトローシス創薬の実現

大学発ベンチャー表彰特別賞  
ジェリクル株式会社 代表取締役CEO 増井 公祐  
支援大学:東京大学 工学部化学系生命工学科教授 酒井 崇匡  
事業内容:テトラゲルを利用した医薬品・医療機器(Get Medicine)の研究開発等

閉会挨拶  
斎藤 保 (国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事長)

松島 倫明 清水 信哉 鐘鉄 優 小松 徹 宮崎 勇典 浅川 純 中村 公治 大槻 雄士 増井 公祐

(敬称略)

#### 8.25(金) 10:30-12:30

研究開発の俯瞰と潮流  
～科学技術イノベーションの動向と日本の活路～

JST 研究開発戦略センター(CRDS)は、国内外の科学技術イノベーションや社会・政策の動向を把握・俯瞰・分析し、「研究開発の俯瞰報告書(2023年版)」を公表しました。本セミナーでは、この活動で見えてきた、主要な科学技術分野を取り巻く現状や今後の展望を、AIや量子を含む注目トピックスとともにCRDS独自の視点で解説します。

イントロダクション

セミナー

「科学技術イノベーションを取り巻く国際情勢と新潮流」  
長谷川 貴之 (CRDSフェロー)

「カーボンニュートラル実現に向けた研究開発動向」  
中村 亮二 (CRDSフェロー)

「社会の変化と世界の動向から展望するマテリアル研究開発の重要課題」  
福井 弘行 (CRDSフェロー)

「プラネタリーヘルス～人と地球の健康の両立～」  
小泉 聡司 (CRDSフェロー)

「情報技術の3つのトレンドと生成AIのインパクト」  
福島 俊一 (CRDSフェロー)

「未来を拓く量子情報科学」  
嶋田 義浩 (CRDSフェロー)

質疑応答

研究開発戦略センター(CRDS)ホームページはこちらから▶ (https://www.jst.go.jp/crds/) ▶

長谷川 貴之 中村 亮二 福井 弘行 小泉 聡司 福島 俊一 嶋田 義浩

(敬称略)

#### 8.25(金) 13:30-16:30

併催事業 Online配信 セミナー会場

#### ムーンショット型研究開発制度 合同シンポジウム

～「ムーンショット×ムーンショット」で生み出す破壊的イノベーション～

各ムーンショット目標を統括するリーダーたちは、どんな未来社会を目指すのか。2040、50年の未来社会を展望し、ロボット・AI、健康医療、地球環境、食と農業、量子、気象、こころなど様々な分野のプロフェッショナルがパネルディスカッションを行い、未来社会の創造と、その実現に向けた新たな取組みを発掘します。

基調講演  
[Nobel Turing Challenge -- The grand challenge for transforming scientific research]  
北野 宏明 (ソニーグループ株式会社 執行役 専務 CTO/沖繩科学技術大学院大学 教授)

パネルディスカッション

テーマA  
「楽しい「人生100年時代」をどう実現するか。」  
～目標1「アバター×目標3AI×目標7健康医療～」  
ファシリテーター 松島 倫明 (IWIRED)日本版 編集長)  
パネリスト 落合 陽一 (メディアアーティスト) 宮本 隆史 (社会福祉法人 善光会 理事 兼 統括施設局長/株式会社 善光総合研究所 代表取締役社長) (ムーンショット目標1「プログラムディレクター」/大阪芸術大学 学部長・教授) 萩田 紀博 (ムーンショット目標3「プログラムディレクター」/名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授) 福田 敏男 (ムーンショット目標7「プログラムディレクター」/大阪大学 名誉教授・前総長) 平野 俊夫 (ムーンショット目標9「プログラムディレクター」/大阪大学 名誉教授・前総長)

テーマB  
「豊かな「食・こころ・身体」をどう実現するか。」  
～目標2食×目標5農業・食料×目標9こころ～  
ファシリテーター 中村 尚樹 (ジャーナリスト/法政大学 社会学部 非常勤講師)  
パネリスト 鄭 雄一 (東京工業大学 工学系研究科 医学系研究科 教授/神奈川県立保健福祉大学 理事・副学長、大学院ヘルスイノベーション研究科 研究科長) 柳原 直人 (富士フィルム株式会社 取締役 常務執行役員/知的財産本部管理) 祖父江 元 (ムーンショット目標2「プログラムディレクター」/豊田医科大学 理事長・学長) 千葉 一裕 (ムーンショット目標5「プログラムディレクター」/東京農工大学 学長) 熊谷 誠慈 (ムーンショット目標9「プログラムディレクター」/京都大学 人と社会の未来研究院 准教授)

テーマC  
「持続可能な「地球環境」をどう実現するか。」  
～目標4環境×目標6量子×目標8気象～  
ファシリテーター 松島 倫明 (IWIRED)日本版 編集長)  
パネリスト 西口 尚宏 (一般社団法人 GEN Japan(Global Entrepreneurship Network) 代表理事・マネージングディレクター) 佐藤 康司 (ENEOS株式会社 執行役員/中央技術研究所長) 山田 憲治 (ムーンショット目標4「プログラムディレクター」/地球環境産業技術研究機構 理事長) 北川 勝浩 (ムーンショット目標6「プログラムディレクター」/大阪大学大学院 基礎工学研究科 教授) 三好 建正 (ムーンショット目標8「プログラムディレクター」/理化学研究所 計算科学研究センター チームリーダー)

松島 倫明 西口 尚宏 佐藤 康司 山田 憲治 北川 勝浩 三好 建正

(敬称略)

